



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会

2013年度 事業報告

東日本大震災から2年を経過し、町ぐるみでいまだ帰還のめどが立たない方々、平常の暮らしに戻れない方々が数多くいるなか、避難されている人々を支えるスタッフをサポートするアウトリーチ型の活動を、福島を中心に継続してきた。「参加の力を信じよう」のスローガン通り、地元の人々や団体の参加と力を信じ、企画や実行過程を協働で行っていくことを基本に活動した。

また、2012年にボランティアコーディネーション力検定が1級まで完成したことを受けて、合格者の実情と満足度に関わる調査を実施し、検定が多くのボランティアコーディネーターの学びと実践の振り返りに効果を上げていることを確認した。コーディネーターの職場での処遇改善や組織としての人材育成への活用など今後の課題はあるものの、ボランティアコーディネーションが徐々に関連組織やボランティアコーディネーション現場に浸透している状況が浮き彫りになった。

以下、2013年度の事業の重点について成果を振り返る。

●重点1 ● ボランティアコーディネーション力検定の受験者拡大を通じ、

ボランティアコーディネーションの社会への浸透を図る

ボランティアコーディネーション力3級検定合格者は2013年度末で1,850人となった。2級は278人、1級は34人という数字になっている。3級検定については共催研修が計画を超えて実施できたことで、年間の受験者数が469人と過去最高となった。2級については若干定員割れをしており、3級から2級へのステップアップが課題である。第2回目を迎えた1級は今のところ募集開始間もなく定員に達している。

●重点2 ● あらゆる組織・場面におけるボランティアコーディネーションの

実態把握と組織評価へ着手する

検定・認定プロモーション委員会による協議と調査によって、検定合格のメリットや効果が可視化された。一方で組織へのボランティアコーディネーター配置などの具体的なアクションはまだ行なえておらず今後の課題である。

創設以降3回目となった会員アンケート調査では会員のJVCA事業への参加と満足度が明らかになり、次期ビジョンづくりの指標となる結果が得られた。

●重点3 ● 「無縁社会」化を克服するためのつながりをつくる

ボランティアコーディネーション力を持った人材の育成とネットワークをつくる

福島県に赴いての支援活動を継続した。県内ではエリアによる復興速度の違いが広がり、支援ニーズも多様化してきたことに伴い、市町村や地区単位、ネットワークなどにアプローチする「アウトリーチ型」の活動形態に切り替え、巡回や訪問インタビューなどを行いながらニーズを把握した。

その結果、年度の後半になって研修や相談のニーズが寄せられ、個別の研修につながった。

■ 1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会2013」(あいち・なごや)の開催及び評価

愛知淑徳大学との共催で研究集会を開催した。東海エリアのコーディネーター等によって設置した実行委員会においてプログラムを企画し、準備から運営までを行った。

テーマ：「ど真ん中で待つとるでよ〜 ーちがいを強みに変えるコーディネーション力! ー」

期日：2013年 3月2日(土)～3月3日(日)

会場：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

共催：愛知淑徳大学

分科会：29分科会

参加者：202人

実行委員：46人

協力者：11人

運営ボランティア：54人

講師・事例報告者等：71人

(実行委員との重複あり)



実行委員会開催状況

回	期日	会場	参加人数
要項発送	1月5日(土)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	18人
第9回	1月14日(祝)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	21人
第10回	1月27日(日)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	22人
第11回	2月17日(日)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	28人
第12回	2月24日(日)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	13人
第13回	3月25日(月)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	13人

②「全国ボランティアコーディネーター研究集会2014」（開催地：栃木県）の準備

白鷗大学の協力により、JR小山駅前の白鷗大学東キャンパスにて全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2014を開催することを決定した。

プログラムの企画・立案については栃木県内および周辺県のボランティアコーディネーション関係者で構成する実行委員会を設置し、本会正会員である結城史隆氏を実行委員長に、同じく正会員の岩井俊宗氏を事務局長に選出した。

実行委員会開催状況

回	期日	会場	参加人数
準備会	2月20日（水）	白鷗大学 東キャンパス	14人
第1回	4月7日（日）	白鷗大学 東キャンパス	20人
第2回	5月18日（土）	白鷗大学 東キャンパス	27人
第3回	6月22日（土）	白鷗大学 東キャンパス	19人
第4回	7月20日（土）	ホテル鬼怒川御苑	19人
		JVCA合同	37人
第5回	8月25日（日）	白鷗大学 東キャンパス	14人
第6回	9月21日（土）	宇都宮大学 地域連携教育研究センター	19人
第7回	10月19日（土）	白鷗大学 東キャンパス	16人
第8回	11月2日（火）	白鷗大学 東キャンパス	14人
第9回	11月30日（土）	白鷗大学 東キャンパス	18人
第10回	12月12日（日）	宇都宮大学 地域連携教育研究センター	19人
発送	12月15日（日）	栃木県青年会館コンセーレ	—

（2）研修の開催および研修企画の支援

・実務者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修（計画 2回：関東1回・関西1回）

東京会場の研修を開催した。会場確保の関係でコース別に2日に分けて実施した。

大阪会場（大阪ボランティア協会共催）は9月13日（金）に開催予定。

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター基礎研修 （施設・団体向け：ボランティアマネジメント）	6月14日（金） ふれあいケア四谷 （東京）	小原 宗一 後藤麻理子	28人
ボランティアコーディネーター基礎研修 （中間支援組織向け）	6月27日（木） 北とぴあ （東京）	唐木理恵子 後藤麻理子	36人

第 39 期ボランティアコーディネーター養成講座 ～新任ボランティアコーディネーター基礎研修～ <3 コース> ①中間支援組織向け ②施設向け ③N P O・団体向け	9月13日(金) 市民活動スクエア CANVAS 谷町 (大阪ボランティア協会)	石井祐理子 岩本 裕子 荒木 澄美 南 多恵子 後藤 光弘 岡村こず恵 小平 智子	37人
---	---	---	-----



← ↑ 研修風景 (東京)

・実務者向け：ボランティアマネジメント研修 1回

タイトル	期日・会場	講師	参加者
福祉施設・病院のための ボランティアマネジメント研修 <共催：練馬区社会福祉協議会 ボランティア・地域福祉推進センター>	7月5日(金) 練馬区立 勤労福祉会館 (東京)	後藤麻理子 樋口 実 堀越 未央	29人

・ボランティアコーディネーター向けファシリテーション講座 (計画 2回)

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアな力をコーディネートするあなたのための ファシリテーション講座 「対立や葛藤と向き合う ～一緒に考える、一緒にやる、を 実現するための関係調整～」	11月11日(月) 東京文化会館	加留部貴行	10人

ファシリテーション講座については、今年もテーマ・内容をリニューアルして開催した。
 関西の開催は見合わせた。

・研修への講師派遣

・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、J V C Aの理事・役員等を派遣した。

派遣78件 研修日数108日 / 派遣講師 18人 (実数)

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力1級検定試験の実施 1回

第1回(通算第2回)ボランティアコーディネーション力1級検定には、昨年同様、募集早々に続々と申し込みが入り、締め切りを待たずに定員に達した。

本年度は直前研修と試験を別日程とした。1級検定試験は東京と大阪の2会場で実施した。

開催地・会場	期 日	講 師 ・ 演習観察者	受験者
<第1回> 品川区 総合区民会館 きゅりあん	7月13日(土) ～7月14日(日) 1日目:直前研修 2日目:直前研修	筒井のり子、妻鹿ふみ子 岩井 俊宗、須藤美智子 上田 英司、後藤麻理子 早瀬 昇、竹田 純子 杉澤 経子、小原 宗一	30人
【東京】 同上	8月4日(日) 試験		15人
【大阪】 CANVAS 谷町			15人

<第1回(通算第2回) 1級検定 試験結果>

受験者数	30人	合格者数	13人	合格率	43.3%
------	-----	------	-----	-----	-------

②ボランティアコーディネーション力2級検定試験の実施 (計画 2回・2カ所)

8月24・25日(土・日)に大阪会場、9月7・8日(土日)に東京会場で実施した。

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
<第1回> 大阪会場 大阪府立男女共同参画・ 青少年センター	8月24日(土) ～8月25日(日) 直前研修 & 検定試験	栗木 梨衣 早瀬 昇 後藤麻理子 筒井のり子	36人
<第2回> 東京会場 北とぴあ	9月7日(土) ～9月8日(日) 直前研修 & 検定試験	疋田 恵子 小原 宗一 後藤麻理子 栗木 梨衣	45人

<第1・2回 2級検定 試験結果>

	大阪	東京	合計
受験者数	36人	45人	81人
合格者数	29人	28人	57人
合格率	80.6%	62.2%	70.4%

③ボランティアコーディネーションカ3級検定試験の実施（主催検定：計画 3回）

<第1回検定の実施>（通算第10回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 東京ボランティア・市民活動センター <研修共催： 同上 >	6月2日（日） ・直前研修 ・検定試験	三田 響子 後藤麻理子	58人
大阪会場 大阪府社会福祉会館 <研修共催：大阪ボランティア協会>		公文真理亜 竹田 純子	58人

<第2回検定の実施>（通算第11回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
栃木会場 白鷗大学 東キャンパス	9月29日（日） ・直前研修 ・検定試験	唐木理恵子 上田 英司	61人

<第3回検定の実施>（通算第12回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 東京ボランティア・市民活動センター <研修共催： 同上 >	12月1日（日） ・直前研修 ・検定試験	加留部貴行 三田 響子	61人
大阪会場 大阪府社会福祉会館 <研修共催：大阪ボランティア協会>		赤澤 清孝 海士 美雪	60人

<第1・2・3回 3級検定（主催） 試験結果>

	第1回		第2回	第3回		合計
	東京	大阪	栃木	東京	大阪	
受験者数	58人	58人	61人	61人	60人	298人
合格者数	55人	48人	54人	50人	54人	261人
合格率	94.8%	82.8%	88.5%	82.0%	90.0%	87.6%

<共催検定> (計画 4 回)

全国各地での開催を進めるために、ボランティアコーディネーションカ 3 級検定を他機関・団体と共催して行った。東京ボランティア・市民活動センターとの共催検定は、東京会場の主催検定と合体させて実施した。要望により計画回数を増やして 5 回実施した。

共催団体	期 日	講 師	受験者
①長野県社会福祉協議会	1月12日(土)	妻鹿ふみ子	20人
②東京ボランティア・市民活動センター	6月2日(日)	三田 響子 後藤麻理子	49人
③沖縄県社会福祉協議会	9月25日(水)	唐木理恵子	42人
④静岡県社会福祉協議会	10月7.8日(月・火)	唐木理恵子	31人
⑤東北学院大学	11月9日(土)	小原 宗一	29人

<共催検定 試験結果>

	①	②	③	④	⑤
受験者数	20人	49人	42人	31人	29人
合格者数	16人	44人	37人	23人	20人
合格率	80.0%	89.8%	88.1%	74.2%	69.0%

④ボランティアコーディネーションカ検定試験委員会の運営

・ボランティアコーディネーションカ検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所 属	担当
◎1	長 沼 豊	学習院大学	1級
○☆2	妻鹿ふみ子	東海大学	1級
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会	1級
4	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター	1級
5	須藤美智子	環境パートナーシップ会議	1級
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1級
☆7	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	2級
8	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2級
9	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター	2級
10	早 瀬 昇	大阪ボランティア協会	2級
11	赤澤 清孝	ユースビジョン	2級
☆12	加留部貴行	九州大学	3級
13	唐木理恵子	日本ボランティアコーディネーター協会	3級
14	上田 英司	N I C E	3級
15	足立 陽子	日本ボランティアコーディネーター協会	3級

«試験委員会（全体）»

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	1 月 8 日（火）	J V C A 事務所	10 人

全体の総括を行ない、重要案件①試験問題と解答の公開について、②今後の委員会体制について（定員の増減を含めて）、③配慮が必要な受験者などへの対応について、話し合った。

« 1 級検定チーム»

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	5 月 8 日（水）	J V C A 事務所	6 人
第 2 回	6 月 12 日（水）	J V C A 事務所	6 人
第 3 回	7 月 10 日（水）	J V C A 事務所	5 人

« 2 級検定チーム»

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	4 月 13 日（土）	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	5 人
第 2 回	5 月 12 日（日）	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	4 人
第 3 回	6 月 16 日（日）	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	4 人
第 4 回	7 月 7 日（日）	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	4 人
第 5 回	8 月 3 日（土）	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	3 人

« 3 級検定チーム»

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	1 月 12 日（土）	J V C A 事務所	4 人
第 2 回	2 月 12 日（火）	J V C A 事務所	4 人
第 3 回	4 月 2 日（火）	J V C A 事務所	4 人
第 4 回	4 月 26 日（金）	J V C A 事務所	3 人
第 5 回	9 月 1 日（日）	J V C A 事務所	4 人
第 6 回	10 月 14 日（月）	J V C A 事務所	3 人
第 7 回	12 月 24 日（火）	J V C A 事務所	4 人

⑤『ボランティアコーディネーションカ 1 級検定テキスト』の改訂

⇒1 級検定テキストを一部改訂して、編集、発行した。

⑥『ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキスト』の改訂

⇒2 級検定サブテキストを一部改訂して、編集、発行した。

（４）情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジン（会員向け）の発行（月 1 回）

めるまが Co☆Co☆Net 第 92 号～第 103 号の発信（12 回）

② JVCA リーフレットの増刷（3 つ折り） 3,000 部

③ ホームページの充実

団体に関わる基本情報、実施事業、等の更新、未更新情報を調査し、修正した。
ボランティアコーディネーション力検定、J V C Cなどのページも充実させた。

④ ボランティアコーディネーションに関連する図書・文献等の収集、整理

ボランティアコーディネーション関連の図書・文献（入手可能なもの）を整理し、ホームページで公開した。

⑤ 雑誌・新聞などへの寄稿 など

『ボランティア情報』 2013年3月1日（全国ボランティア・市民活動振興センター発行）

突撃訪問隣のコーディネーター（ボランティアコーディネーター） 執筆：後藤麻理子

『福島民友』 2013年4月7日

相談員の手引き発行 被災者支援活動のヒントに（筒井のり子・後藤麻理子）

『福島民報』 2013年5月9日

生活支援相談員の本県版冊子を発行（筒井のり子・後藤麻理子）

『V o l o o』 2013年4月号（大阪ボランティア協会発行）

「パラボラ・ニュース」 東日本大震災 避難者を支える人を支える

生活支援相談員ハンドブック（ふくしま版）完成 紹介記事掲載

⑥ 福島県生活復興ボランティアセンターWEBサイト「はあとふる・ふくしま」への運営協力

東日本大震災直後から運営をサポートしてきた福島県災害ボランティアセンターのWEBサイトがリニューアルされ、新たに福島県生活復興ボランティアセンター「はあとふる・ふくしま」となった。J V C Aではこの運営と情報提供に協力した。

（5）広報紙および出版物の発行

① ニュースレターの発行

『Co★Co★Net』の発行 年3回（計画発行月：4月、8月、12月）

Co★Co★Net 第38号 特集：ボランティア講座企画ガイド

5月18日発行 700部

Co★Co★Net 第39号 特集：最新アメリカボランティアマネジメント事情を読み解く

8月20日発行 700部

Co★Co★Net 第40号 特集：会員ニーズ調査報告

12月18日発行 1,200部

② 『生活支援コーディネーターのためのハンドブック』の編集・発行

福島県内の生活支援相談員等の活動に役立ててもらおう
ためのハンドブックを作成し、福島県内外に配布した。
また、新任者を対象とした〈生活支援相談員研修会〉



(基礎編) のテキストとしても使用した。

さらに、全国からの求めに応じて、「研修会」「学習会」等への活動目的とする団体・個人には無償で配布した。

1,500部 3月11日発行 A5判 80頁

③ボランティアコーディネーションカ1級検定テキスト(加除式)の発行(受験者用)

改訂版 60部 6月12日発行 B5判 120頁

④ボランティアコーディネーションカ2級検定サブテキスト(加除式)の発行(受験者用)

改訂版 110部 7月15日発行 B5判 154頁

(6) 調査・研究活動の推進

① J V C A 認定ボランティアコーディネーターシステムの開発

「認定ボランティアコーディネーターシステム研究会」(新規)を設置し、検討を行った。

No	メンバー	所 属
1	筒井のり子	龍谷大学
2	妻鹿ふみ子	東海大学
3	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター
4 (事務局)	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	9月24日(火)	J V C A 事務所	3人
第2回	10月26日(土)	品川区総合区民会館	3人

②「検定・認定システム化検討委員会」の継続

No	委員名	所 属	◎委員長 ○副委員長
◎1	筒井のり子	龍谷大学	
○2	妻鹿ふみ子	東海大学	
3	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター	
4	小原 宗一	北区社会福祉協議会	
5	早瀬 昇	大阪ボランティア協会	
6	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・N P O 活動センター (9月まで)	
7	須藤美智子	環境パートナーシップ会議	
8	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	
9	赤澤 清孝	ユースビジョン	
10	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	
11	上田 英司	N I C E	
12	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	

回	期 日	会 場	参加人数
第 48 回	1 月 14 日 (月・祝)	J V C A 事務所	9 人
第 49 回	3 月 15 日 (金)	J V C A 事務所	10 人
第 50 回	4 月 20 日 (土)	J V C A 事務所	9 人
第 51 回	5 月 19 日 (日)	J V C A 事務所	11 人
第 52 回	6 月 1 日 (土)	J V C A 事務所	7 人
第 53 回	7 月 6 日 (土)	J V C A 事務所	8 人
第 54 回	8 月 10 日 (日)	J V C A 事務所	8 人
第 55 回	9 月 21 日 (土)	J V C A 事務所	7 人
第 56 回	11 月 4 日 (祝・月)	J V C A 事務所	9 人

③「検定・認定プロモーション委員会」の継続

検定システムの普及や、専門職としてのボランティアコーディネーターの社会的・組織的認知を向上させるための方策を研究した。

No	委員名	所 属	◎委員長
◎ 1	早 瀬 昇	日本 N P O センター	
2	川瀬 和一	藤沢養護老人ホーム	
3	小林 政夫	立命館大学サービスラーニングセンター (3月まで) 京都文教ボランティアセンター (4月から)	
4	永井 美佳	大阪ボランティア協会	

※参加人数はオブザーバーを含む

回	期 日	会 場	参加人数
第 4 回	1 月 18 日 (金)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	7 人
第 5 回	3 月 4 日 (月)	メルパルク名古屋	7 人
第 6 回	4 月 28 日 (日)	市民活動スクエア CANVAS 谷町	5 人

・ボランティアコーディネーション検定合格者調査の実施

検定合格者を対象とした調査を実施した。結果については日本 N P O 学会において発表した。また、調査協力者へは詳細に報告し、概要を WEB サイトに掲載した。

«調査対象» 検定合格者 1,449 人のうち E メールアドレスを保有する者
サンプル数 1,115 人

«回答者数» 228 人 (回答率 : 20.4%)

«調査方法» E メールにより調査協力をお願いし、WEB 上の調査フォームに回答を入力し、返信。

«調査期間» 2013 年 1 月 31 日 ~ 2 月 6 日

④東京都の新しい公共支援事業の一環である「中間支援人材の養成」事業の受託

東京ボランティア・市民活動センター（東京都社会福祉協議会運営）と協働して、標記の事業に取り組み、中間支援組織のスタッフ養成のための研修体系の開発、研修プログラムおよび学習ツールの作成、研修の試行に取り組んだ。

⑤東日本大震災におけるボランティアコーディネーションについての検証

日本 NPO 学会と協力して、岩手・宮城・福島の大震災ボランティアセンターや NPO などにおけるボランティアコーディネーションについてのヒアリング調査を行った。

⑥『ボランティアコーディネーター白書 2013-2015』の編集

大阪ボランティア協会が発行する『ボランティアコーディネーター白書』の編集に協力するために、同編集委員会に参加した。

（7）相談への対応

①会員メーリングリストによる会員相互の相談助言活動の促進

悩み相談、意見発信、問題提起、情報交換など、会員メーリングリストに寄せられる相談を通して会員同士のコミュニケーションを促進した。

メーリングリスト利用件数 206 件

②事務局(事務所)に入った電話、メール、F A X 等での相談、問い合わせ、連絡などに対応した。

・相談件数

内 容	件数
ボランティアコーディネーションに関すること	26
ボランティア活動に関すること	12
研修講師相談・依頼・手続き・調整	386
主催研修の日程／内容	74
J V C C に関すること	254
図書購入・照会	58
取 材	6
入会希望・問合せ	14
会員種別変更・退会	49
会費納入	46
事業協力・後援依頼	12
関係(者)団体連絡先照会	5
ボランティアコーディネーター力検定	458
震災関連	32
その他	56
合 計	1,488

(8) ネットワーク推進事業

① C o C o サロンの開催・運営支援

・会員サービスの一環として、会員相互の交流を深める場（機会）として、会員が自主的に開催するC o C o サロンの新規立ち上げおよび運営を支援した。

・C o C o サロンの開催状況

日程	地域/分野	会場	参加人数	主な内容
2月6日 (水)	北九州 Link 福祉施設	北九州市立 戸畑障害者 地域活動センター	61人	加留部貴行さんをファシリテーターに迎え「いっしょにやるって、ど〜ゆ〜こと?! 対話を通じた仲間づくり」をテーマに開催。日頃のコミュニケーションの少なさややり方を振り返るきっかけとなった。
3月9日 (土)	北九州 Link 福祉施設	北九州市立 小倉南障害者 地域活動センター	30人	石井祐理子さんをゲストに、「なぜ、ボランティア＝安価な労働力ではだめなんですか? ～絆は人を変えることができる!!かも…」を開催。災害時や福祉施設での活動が人手になっているのでは?との自戒からでてきたテーマに取り組んだ。
7月30日 (火)	長野	ふれあい福祉センター (長野市社協)	12人	筒井のり子さんを招き長野市の行政区単位で配置されている地域福祉ワーカーの方たちの悩みなどを中心に話し合った。
9月5日 (木)	学校教育	北海道 飯田橋駅前店	7人	残暑払いを兼ねて開催。夏の体験ボランティアなどのプログラムを終えた振り返りなどを行った。
10月16日 (水)	@神楽坂 オフィス	JVCA 事務所	10人	高齢者福祉施設でボランティアコーディネーターを務める樋口実さんを招き、ボランティア定着の秘訣を伺った。
10月25日 (金)	学校教育	ユースビジョン 事務所 (Flag 三条)	13人	長沼豊さんの問題提起を受けて、学生と元? 学生たちが一緒になって、いまどきの大学生のこと、ボランティア活動のことなどについて自由に意見を出し合った。
11月7日 (木)	@神楽坂 オフィス	JVCA 事務所	9人	社会福祉法人の理事、養護老人ホーム施設長である川瀬和一さんを招き、災害時の福祉施設の課題や地域の中での役割などについて考えた。
11月14日 (木)	北九州 Link 福祉施設	とりはた玄海園 生活支援センター	13人	加留部貴行さんをファシリテーターに、コーディネーターの基礎知識「ボランティアとは?」をあらためて考えた。

②国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に協力し、連携を深めた。

・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加

幹事会への参加

全国ボランティアフェスティバルぎふ実行委員会への参加（同会議のメンバーとして）

・東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）への参加

・他団体が実施（主催）する委員会等への協力、参加（委員委嘱）

i) 東京都中央区：中央区協働推進会議（地域振興課協働推進担当）

ii) 東京ボランティア・市民活動センター：市民社会をつくるボランタリーフォーラム 2013
・2014 実行委員会

iii) 全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会

iv) 日本NPOセンター：評議員

v) 瑞穂町社会福祉協議会：ボランティア・市民活動センター運営委員会アドバイザー

vi) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 臨時委員

vii) 東京都内中間支援組織における人材育成のための研修企画委員会・作業部会

viii) 福島県生活復興ボランティアセンターWEBサイト「はあとふるふくしま」運営への協力

ix) キリン福祉財団：助成金選考委員

x) 日本NPOセンター：東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト選考委員

xi) よこはま地域福祉研究センター：アドバイザーボードメンバー

xii) チャリティホワイト新規プロジェクト：選出委員

・他団体が開催する事業への後援

i) 第 49 回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会／第 12 回日本精神保健福祉士学会学術集会（社団法人日本精神保健福祉士協会）

ii) ファンドレイジング・日本 2014（特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会）

（9）アドボカシー活動の展開

①日本ボランティアコーディネーター協会（JVC A）の認知向上

日本 NPO 学会における調査研究発表（再掲）

学会などの関係者が多く集まる場所での〈図書販売〉を PR を兼ねて実施した。

WEBサイトによる広報を充実させた。

②ボランティアコーディネーションについての普及啓発

・「ボランティアコーディネーター基本指針」を主催研修や講師派遣先で配付し、普及啓発を行った。

(10) 東日本大震災・被災地の復興に向けた生活支援コーディネーターの養成と強化事業

再掲① 福島の復興に向けた生活支援コーディネーターの強化と普遍化事業

『生活支援コーディネーターのためのハンドブック』の編集・発行 1,500部

—災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）協力団体応援資金事業

福島県内の生活支援相談員をはじめ、県内や全国の福島を応援する方々にハンドブックを配布し、生活支援相談員の役割や活躍、活動上の課題を幅広く伝えた。

生活支援コーディネーターのためのハンドブック編集委員会メンバー

No	氏名	所属
1	渡邊 誠一	社会福祉法人福島県社会福祉協議会
2	根本 光洋	社会福祉法人本宮市社会福祉協議会
3	黒木 洋子	社会福祉法人南相馬市社会福祉協議会
4	草野 淳	社会福祉法人いわき市社会福祉協議会
5	青田 由幸	特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク
6	古山 郁	特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ
7	土谷 一貴	ふくしま復興支援学生ネットワーク
8	李 仁 鉄	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（にいがた災害ボランティアネットワーク）
9	筒井 のり子	日本ボランティアコーディネーター協会代表理事（龍谷大学）
10	井岡 仁志	日本ボランティアコーディネーター協会理事（高島市社会福祉協議会）
11	阿南 健太郎	日本ボランティアコーディネーター協会運営委員（児童健全育成推進財団）
事務局		日本ボランティアコーディネーター協会 後藤 麻理子 / 栗原 穂子
編集協力		特定非営利活動法人うつくしまランチ 渡辺 ひろこ / 渡辺 利広 / 掃部 郁子

生活支援コーディネーターのためのハンドブック作成委員会等の開催

回	期日	会場	参加人数
第5回	1月24日（水）	福島県総合社会福祉センター	16人
振り返り	3月30日（土）	石林 会議室	9人

●主な配布先 福島県内の生活支援相談員

同 社会福祉協議会

同 行政関連部署

同 民生委員

福島県以外の被災地の生活支援相談員

全国社会福祉協議会、都道府県社会福祉協議会

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議福島チーム

内閣府、国土交通省、厚生労働省

希望する個人・団体、など

再掲②福島県生活復興ボランティアセンターWEBサイト「はあとふる・ふくしま」への運営協力

福島県内のボランティア活動や生活支援相談員の活動等、復興に向けての動きを発信した。
ボランティアやNPOについて言葉の意味などを解説するコーナーを担当した。

③生活支援相談員等に対する研修企画・実施への協力

新任者を対象とする市町村社協生活支援相談員等研修会（基礎編）の企画に協力し、開催にあたっては講師ならびにファシリテーターを派遣した。また、チーム向け研修会やテーマ別研修会の企画にも協力し、講師を派遣した。

④福島の復興に向けた生活支援コーディネーターの強化と普遍化事業②

『現地団体とタイアップしての“アウトリーチ型研修”の実施』

—災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）協力団体応援資金事業

i) アウトリーチ型研修の実施（主催）※企画会議・打ち合わせ・講師派遣は含まない

期 日	会 場	依頼者・対象	講 師
4月16日 (火)	福島県浪江町 社会福祉協議会 事務所	浪江町社会福祉協議会／二本松市社会福祉協議会（新任生活支援相談員向け）	後藤麻理子 栗原 穂子 八巻 忠義 (福島県社協)
11月25日 (月)	田村市船引公民館	田村市社協生活支援相談員／田村市復興応援隊／絆支援員／保健師／NPO スタッフ	栗原 穂子
12月12日 (木)			後藤麻理子
※1月22日 (水)に最終 回の予定			徳田 太郎 (日本ファシリテーション協会フェロー)
12月17日 (火)	福島県浪江町 社会福祉協議会 事務所	浪江町社会福祉協議会 生活支援相談員	井岡 仁志 栗原 穂子
12月25日 (水)	いわき市 社会福祉センター	いわき市社会福祉協議会 生活支援相談員	栗原 穂子

ii) 生活復興ボランティアセンター連絡会（県社協統括生活支援相談員ミーティング）への参加

iii) 県社協統括生活支援相談員の市町村社協への巡回訪問に同行

iv) 応急仮設住宅支援等に関する連絡会（方部ごとの会議）への参加

v) ふくしま復興支援学生ネットワークのミーティングへの参加

vi) 福島県内のNPO支援センター、NPOへの訪問インタビュー

vii) 生活支援相談員から見る避難住民生活の現状調査（第3回）の設計・実施への助言

■ 2 組織運営と財政強化

(1) 通常総会 2013年3月3日、東京にて開催した。

・正会員数 349人

・定足数 175人

・出席者数 225人 (内訳) 書面表決109人 委任73人 議場出席43人

[審議結果]

第1号議案(2012年度事業報告・決算案) 承認

第2号議案(2013年度事業計画・予算案) 承認

第3号議案(2011年度貸借対照表・財産目録修正) 承認

(2) 理事会

第7期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿

(2012年4月1日～2014年3月31日)

No.	氏名	所属先	地域
1	安藤 雄太	東京ボランティア・市民活動センター(アドバイザー)	東京
2	赤澤 清孝	特定非営利活動法人ユースビジョン	京都
3	阿部 陽一郎	社会福祉法人中央共同募金会	東京
4	井岡 仁志	社会福祉法人高島市社会福祉協議会	滋賀
5	鶴尾 雅隆	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会	東京
6	小原 宗一	社会福祉法人北区社会福祉協議会	東京
7	加留部 貴行	九州大学	福岡
8	後藤 麻理子	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会	東京
9	斉藤 悦子	特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会	北海道
10	鈴木 盈宏	トヨタグループボランティア連絡会	愛知
11	須藤 美智子	一般社団法人環境パートナーシップ会議	東京
12	筒井 のり子	龍谷大学	滋賀
13	永井 美佳	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪
14	長 沼 豊	学習院大学	東京
15	濱屋 伸子	財団法人京都市国際交流協会	京都

理事会の開催（4回）

回	日程	会場	出席	審議事項
第42回	2月11日 (月・祝)	JVCA事務所	15人	第1号議案 2012年度事業報告・決算案 第2号議案 2013年度補正予算 第3号議案 2011年度財務諸表の一部改正について 第4号議案 検定試験要項の一部改訂と2013年度の試験委員の任命 第5号議案 2013年度運営委員の募集と選考委員の選任
第43回	4月28日 (日)	市民活動スクエア CANVAS 谷町 (大阪ボランティア協会)	14人	第1号議案 認定ボランティアコーディネーターシステム研究会の設置とメンバーの選任 協議事項：財政確保策について
第44回	8月10日 (土)	JVCA事務所	14人	第1号議案 2013年度上半期事業執行状況について 第2号議案 第3期中期ビジョン策定について 協議事項 2014年度事務局職員体制について
第45回	12月15日 (日)	Flag 三条(京都)	14人	第1号議案 2014年度事業計画ならびに暫定予算について 第2号議案 第3期中期ビジョンについて 第3号議案 2014年度ボランティアコーディネーション力検定試験委員について

(3) 第8期理事候補選任のための選挙〔投票〕の実施

期間 11月12日(火) 選挙告示 ～ 12月3日(火) 投票締切

正会員数(選挙人) 368人 被選挙人 348人 投票者総数 115人 投票率 31.3%

選挙管理委員 加留部貴行 後藤麻理子

(4) 監事監査の実施

2012年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2013年 1月30日(月) 場所 JVCA事務所

監事

No.	氏名	所属先
1	石川 到覚	大正大学
2	早坂 毅	税理士・NPOコンサルタント

(5) 委員会

1月27日(金)に2013年度運営委員選考委員会を開催した。この結果をもとに次期(4月～翌年3月)の運営委員メンバーを代表理事に諮問し、応募者全員が任命された。

①運営委員会 月1回、12回開催した。

i) 2013年度運営委員体制(2013.4-2014.3)

NO	氏名	地域	所属
1	岩浪 武司	山形	鶴岡市第四学区社会福祉協議会
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	土崎 雄祐	栃木	特定非営利活動法人ま・わ・た
4	阿南健太郎	東京	児童健全育成推進財団
5	唐木理恵子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
6	疋田 恵子	東京	杉並区社会福祉協議会
7	後藤麻理子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
8	足立 陽子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
9	上田 英司	東京	特定非営利活動法人NICE
10	鹿住 貴之	東京	認定特定非営利活動法人JUON(樹恩)NETWORK
11	熊谷 紀良	東京	東京ボランティア・市民活動センター
12	高宮城亜矢香	東京	武蔵野市民社会福祉協議会
13	吉田 真也	東京	東京都社会福祉協議会
14	妻鹿ふみ子	神奈川	東海大学
15	奥田 明夫	神奈川	奥田経営科学研究所
16	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会
17	倉本 泰孝	神奈川	葉山町社会福祉協議会
18	山 方 元	愛知	愛知県立豊橋工業高等学校
19	田中 利昌	愛知	名古屋市市民活動推進センター
20	渡邊 文人	愛知	愛・地球博ボランティアセンター
21	野尻 紀恵	愛知	日本福祉大学
22	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
23	早 瀬 昇	大阪	日本NPOセンター/大阪ボランティア協会
24	岡村こず恵	大阪	大阪ボランティア協会
25	渡邊 直樹	大阪	大阪府立大学ボランティアセンターV-station
26	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
27	垂井加寿恵	兵庫	神戸市中央区社会福祉協議会ボランティアセンター
28	公文真理亜	福岡	北九州市社会福祉協議会
29	加留部貴行	福岡	九州大学
30	粟津 剛史	福岡	大野城市社会福祉協議会

※所属は2013年12月末現在

ii) 運営委員会の開催

回	日程	会場	出席
第1回	1月19日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	10人
第2回	2月16日(土)	ウイリング横浜	14人
第3回	3月24日(日)	大野城市総合福祉センター	16人
第4回	5月12日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	13人
第5回	5月19日(日)	岸町ふれあい館(東京)	16人
第6回	6月16日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	14人
第7回	7月29日(日)	ホテル鬼怒川御苑(合宿)	22人※
第8回	8月17日(土)	京都下京いきいき市民活動センター別館	15人
第9回	9月16日(祝・月)	東京ボランティア・市民活動センター	13人
第10回	10月20日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	16人
第11回	11月3日(日)	東京在宅サービス新宿本社	11人
第12回	12月8日(日)	キャンパスプラザ京都	11人

※合宿のプログラムとして開催 +理事1人、JVCC2014 実行委員3人の参加あり

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進した。(メンバーは4月からの体制を掲載)

i) 広報普及委員会 …会員新規拡大、ホームページ充実、ボランティアコーディネーター基本指針の普及など、JVCAのPR活動全般

■メンバー：疋田恵子、熊谷紀良、橋口文博、渡邊文人、野尻紀恵、吉田真也、粟津剛史、岡村こず恵、渡邊直樹、山崎富一、中村彰利、小林政夫、小林郁義

回	日程	会場
第1回	1月19日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第2回	2月16日(土)	ウイリング横浜
第3回	3月24日(日)	大野城市総合福祉センター
第4回	5月12日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第5回(関東M)	6月12日(水)	あんさんぶる荻窪
第6回	6月16日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
リーフレット改訂検討M	7月3日(水)	東京ボランティア・市民活動センター
第7回	8月10日(土)	市民活動スクエア CANVAS 谷町
第8回(関西M)	9月8日(日)	市民活動スクエア CANVAS 谷町
第9回	9月16日(祝・月)	東京ボランティア・市民活動センター
第10回	10月20日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第11回	11月3日(日)	あんさんぶる荻窪
第12回	12月8日(日)	キャンパスプラザ京都

この他に、月1回程度のスカイプ会議(オンライン)を開催

- ii) 会員サービス委員会 …CoCoサロンや、Co☆Co☆Net 編集、会員メーリングリストの活性化など、会員継続支援や会員に向けた広報

■メンバー：倉本泰孝、垂井加寿恵、山方 元、岩浪武司、三田響子、阿南健太郎、足立陽子、公文真理亜、高宮城亜矢香、平田麻理、福本滋、池本真一、石川真由美、荒木澄美

回	日程	会場
第1回（広報に合流）	1月19日（土）	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第2回	2月16日（土）	ウイング横浜
第3回	3月24日（日）	大野城市総合福祉センター
第4回	5月12日（日）	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第5回	6月16日（日）	龍谷大学大阪梅田キャンパス
アンケート調査検討 M	7月 4日（木）	JVCA事務所
第6回	8月17日（土）	京都下京いきいき市民活動センター別館
第7回	9月16日（祝・月）	東京ボランティア・市民活動センター
第8回	10月20日（日）	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第9回	11月28日（木）	かながわ県民サポートセンター

- iii) 研修開発委員会 …基礎研修等やファシリテーション講座等の調整、準備、実施

■メンバー：後藤麻理子

委員会としては実施せず、事業計画にある研修の企画、準備、運営等を行った。

- iv) JVCC企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会2013の企画、今後のあり方検討

■メンバー：唐木理恵子、野尻紀恵、三田響子、妻鹿ふみ子

回	日程	会場
JVCC あり方検討会議	7月9日（火）	JVCA事務所

- v) 財政委員会 …財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、事業計画にもとづく予算作成

■メンバー：早瀬 昇、鹿住貴之、阿部陽一郎、鶴尾雅隆、奥田明夫

回	日程	会場
第1回	4月10日（水）	JVCA事務所
第2回	4月17日（水）	JVCA事務所
理事会出席	4月28日（日）	市民活動スクエアCANVAS谷町
第3回	5月 8日（水）	JVCA事務所
第4回	8月17日（土）	京都下京いきいき市民活動センター別館
第5回	10月17日（木）	JVCA事務所
第6回	11月3日（日）	JVCA事務所
認定NPO法人申請準備	11月20日（水）	JVCA事務所

③プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図った。

i) 東日本大震災災害支援チーム（ハンドブック作成⇒アウトリーチ型研修）の継続

ii) 第3期中期ビジョン策定チームの設置・運営

メンバー：須藤美智子、小原宗一、上田英司、渡邊直樹、後藤麻理子（事務局）

（４）会員拡大および会員サービスの充実

①会員拡大に関する取り組み

会員拡大し、会員組織としての組織構成を強化するための検討を行ったが、やや減少した。

・ボランティアコーディネーション力検定合格者等

に対する入会促進の強化

・オンライン決済システム導入検討

・顧客データベースの一本化検討

正会員	375
準会員	47
賛助会員(個人)	29
賛助会員(団体)	10
合計	461

②会員サービスの見直しとサービスの拡充

CoCoサロンを主軸とした地域や分野における会員相互

の意見・情報交換場づくりを拡充するための方策を検討した。

③日本ボランティアコーディネーター協会会員に対するニーズ調査の実施

会員の状況とJVCAに対する期待、要望などを把握し、事業やサービスメニューの改善をするための会員アンケート調査を実施した。 ※Co★Co★Net 第40号で結果を報告

調査期間 8月20日～9月17日

対象者 正会員・準会員 412人

回答数 154人（正会員145人・準会員9人） 回答率37.4%

（５）事務局運営の充実

常勤職員2人、非常勤職員3人（うち1人は福島事務局）により業務を行った。

また、JVCC2013事務局業務として短期的なアルバイトを採用した。

（６）財源の確保と財政運営

財政委員会は、JVCAの財務分析をもとに改善に向けた取り組み “〈5本の矢〉で財政安定大作戦”を作成し提案した。

・寄付者獲得策の検討（若い世代の挑戦をあなたの力で応援!! U30応援プログラムなど）

・収益の大きい講師派遣事業のPR、新規開拓 など

JVCC2014（栃木）の開催経費を「福祉医療機構（WAM）」に申請し、採択された。

（７）認定NPO法人格取得申請

11月28日（木）に東京都へ事前相談に赴き助言を受けたうえで、12月5日付で申請書を提出した。